

# 地元で活躍する カーボンニュートラル人材 を目指して

八戸工業大学第一高等学校  
工業科 佐々木藍士  
鈴木 惺允  
永坂 拓夢  
長塚 悠太



## なぜ CN なのか？

ご存じのとおり、カーボンニュートラルへの取り組みは、世界的に当然の流れとなっています。現在は、私達が高校で学ぶ「工業」をはじめ、世の中のあらゆることが環境問題やカーボンニュートラルを中心に動いています。しかし、私たちの地域ではどうでしょうか？カーボンニュートラルという言葉すら、あまり聞く機会はありません。そこで私達は、高校生のうちからカーボンニュートラルについて積極的に学び、地域の未来を支える力をつけたいと考えました。



## 私たちの目標

- ①地域企業への就職
  - ・高度なカーボンニュートラル設備を導入する企業を目指す
  - ・将来的には企業内で CN 設備の運用や社員教育を推進する中心人物になりたい
- ②地域のカーボンニュートラル意識向上
  - ・学んだ知識を地域の中学生や小学生に伝える
  - ・地域全体の環境意識を高める活動を展開
- ③持続可能な未来の実現
  - ・地域がカーボンニュートラル先進地域として発展することを目指す
  - ・次世代に知識を伝え、継続的な意識向上を図る



## 地域全体の CN 意識の向上

比較的年齢の近い私達高校生が、地域の中学生や小学生に対してカーボンニュートラルに関する出前授業を行い、若い年代から地域全体の意識向上に貢献することで、持続可能な社会の実現のために、少しでも力になることができると考えています。このような取り組みを通じて、私たちの地域がカーボンニュートラル先進地域として発展できれば最高です。



## 私たちの学び

私たちは高校に通いながら、地元の工業大学で科目等履修生としてカーボンニュートラルについて学び、単位を修得しました。大学の講義では、以下のような内容を学びました。

- 再生可能エネルギーの活用方法
- 最新のカーボンニュートラル設備
- 環境対策技術の最新動向

知識を深め、地域の未来を支える力をつけることを目指しています。



## データで見る環境意識

青森県の環境問題意識調査では、「地球環境問題についてもっと知りたい」と回答した児童・生徒は 60% 超 という結果が出ています。環境問題に関する学習意欲が高いということは、児童・生徒に提供できていない環境問題教育が、要望に対して追いついていない可能性があります。そこで、私達の



## 今後の展望

- ①中学校や小学校での出前授業
  - ・まずは今回の大学での単位修得で得た知識を元に、中学校や小学校で、後輩達に CN に関する知識を伝えたい。
- ②企業や公的機関との連携
  - ・中学校や小学校での出前授業はコネクションがないため難しい。企業や公的機関の力を借りて、機会のセッティングを行いたい。
- ③進路へ向けて
  - ・技術力が高く、環境対策を重視しており、社会的に優良な企業を目指す！引き続き勉強に励みます！